

# リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

## 2020年3月期第2四半期 決算補足資料



2019年11月12日

1. 2020年3月期第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	11. 企業理念と長期ビジョン (P.17)
2. 決算サマリー (P.3)	12. 『第6次中期経営計画(2019年～2020年度)』全体的な基本方針 (P.18)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	13. 『第6次中期経営計画(2019年～2020年度)』事業別の基本方針 (P.19)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	14. リスクモンスターとSDGs (P.20)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	15. 自己株式の取得・消却 (P.21)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	16. 株主のための施策 ① (P.22)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	17. 株主のための施策 ② (P.23)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連事業 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.24)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	【補足】『格付ロジック改定』のご紹介 (P.25)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	【補足】『ビジネス実務与信管理学習ツール』のご紹介 (P.26)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	【補足】事務所移転のお知らせ (P.27)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	
8. 2020年3月期 業績予想 (P.14)	
9. RM財務格付による財務分析 ① (P.15)	
10. RM財務格付による財務分析 ② (P.16)	

## 1Q

## 2Q

### リリース

- ▶ 自己株式の取得(4月)
- ▶ 商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ(iOS版)提供開始(4月)
- ▶ テクマトリックス株式会社と共同で人工知能(AI)活用によるRM格付精度向上の実証実験実施を公表(4月)
- ▶ 業務拡大のため大阪支社を移転(5月)
- ▶ 格付ロジック改定(定性項目の評価に人工知能(AI)を導入し、ビッグデータの分析をさらに多面化)(6月)
- ▶ 公開研修講師が出演する動画 eラーニング 9コース 提供開始(6月)
- ▶ eラーニング『社会人基礎力』シリーズ2コース 提供開始(6月)

- ▶ 株式会社TKCと大学向けWeb学習システム「ビジネス実務与信管理学習ツール」を共同開発(7月)
- ▶ 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施(7月)
- ▶ 債権保証サービス『SecuredMonster』のパフォーマンス向上～低格付企業への積極的な保証、柔軟な割引プランにより保証料を引下げ(8月)
- ▶ 株主優待制度の拡充を決定(8月)
- ▶ 自己株式の消却(9月)
- ▶ クラウド型請求書発行代行サービス『請求の助』機能追加(9月)
- ▶ 公開研修講師が出演する動画 eラーニング 15コース 提供開始(9月)

### リスモン調べ

#### 調査結果 発表

- ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶ 「仕事・会社に対する満足度」(5月)
- ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)

#### リスモン調べ 動画

- ▶ 不動産王ランキング(4月)
- ▶ 仕事・会社に対する満足度(5月)

#### 調査結果 発表

- ▶ 「金持ち企業ランキング」(7月)
- ▶ 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶ 「100年後も生き残ると思う平成生まれの日本企業」(8月)
- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い」(9月)

#### リスモン調べ動画

- ▶ お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業(7月)

### 業界レポート

- ▶ 非鉄金属製造業(2019年改訂版)(4月)
- ▶ 繊維・衣服等卸売業(5月)
- ▶ 情報サービス業(6月)

- ▶ 総合工事業(7月)
- ▶ 化学工業(8月)
- ▶ 不動産賃貸・管理業(9月)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増 減	前期比
売上高	1,471,991 千円	1,585,312 千円	113,320 千円	107.7 %
営業利益	250,205 千円	292,006 千円	41,801 千円	116.7 %
経常利益	255,189 千円	323,696 千円	68,507 千円	126.8 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	156,750 千円	208,148 千円	51,398 千円	132.8 %
1株当たり四半期純利益(EPS)	40.60 円	54.38 円	13.78 円	133.9 %
会員数	11,622 ID	12,509 ID	887 ID	107.6 %
自己資本四半期純利益率(ROE)	3.6 %	4.5 %	0.9 ポイント	125.0 %

(注) ROEは第2四半期(6か月間)の業績で算出

### ◆ 売上高

主力の与信管理サービス、BPOサービス、その他サービスの教育関連事業及び中国におけるサービス等の売上高が順調に増加したため、前期を上回りました。

### ◆ 利益

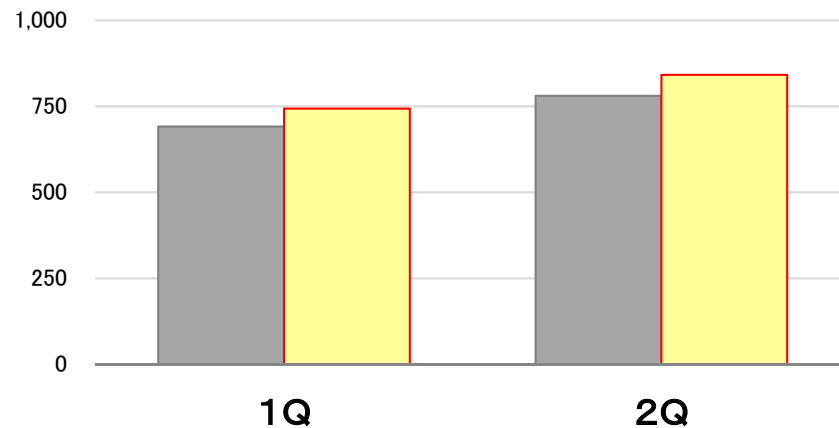
利益率の高いサービスの売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

(単位：千円)

2020年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	743,633	841,678	1,585,312	107.7%
営業利益	103,588	188,417	292,006	116.7%
2019年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	691,261	780,730	1,471,991	103.4%
営業利益	80,268	169,936	250,205	114.6%

#### 売上高

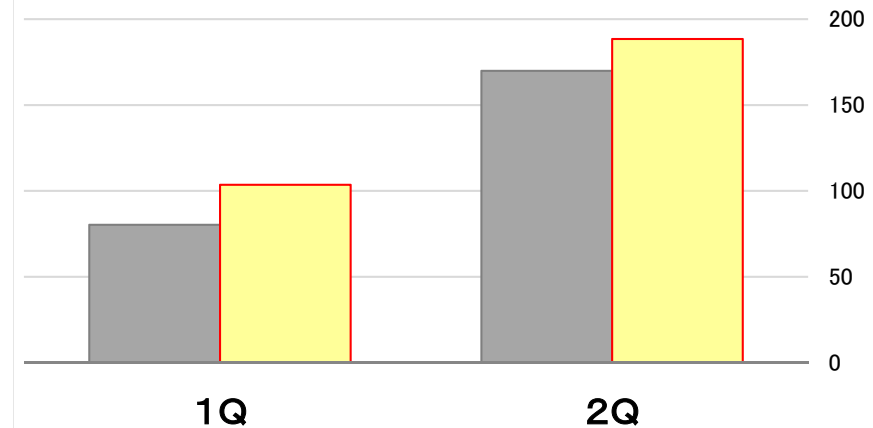
(単位：百万円)



■ 2019年3月期 □ 2020年3月期

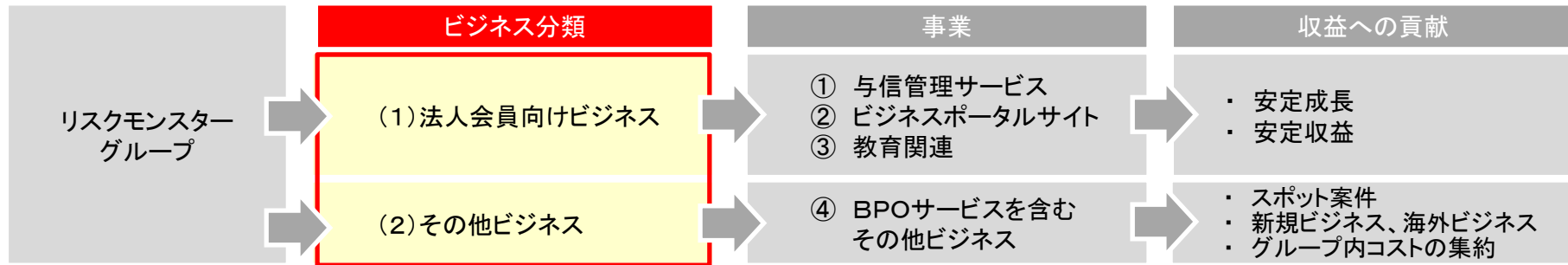
#### 営業利益

(単位：百万円)



■ 2019年3月期 □ 2020年3月期

## リスクモンスターグループ ビジネスモデル

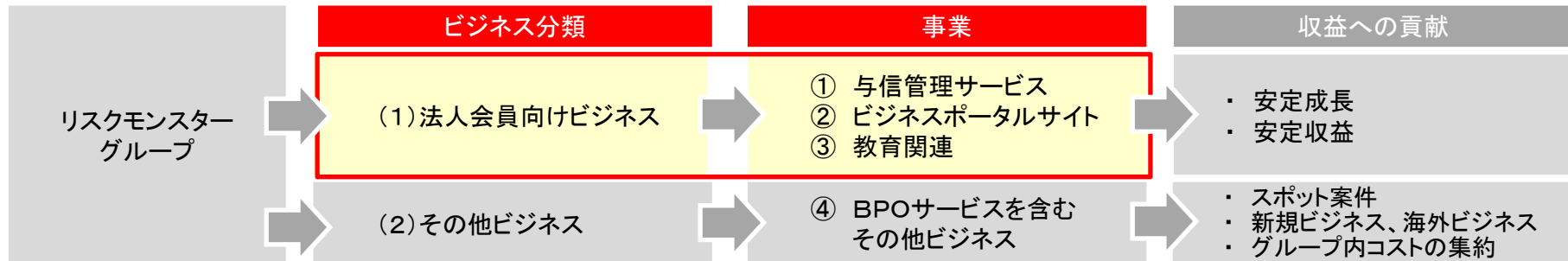


(単位 : 千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	1,318,261	1,405,416	87,154	106.6%
(2) その他ビジネス	227,537	265,373	37,836	116.6%
売上高 計	1,545,799	1,670,790	124,990	108.1%
(1) 法人会員向けビジネス	311,313	338,371	27,057	108.7%
(2) その他ビジネス	△24,495	△8,677	15,817	—
利益 計	286,818	329,693	42,875	114.9%

(注) 売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

## リスクモンスターグループ ビジネスモデル



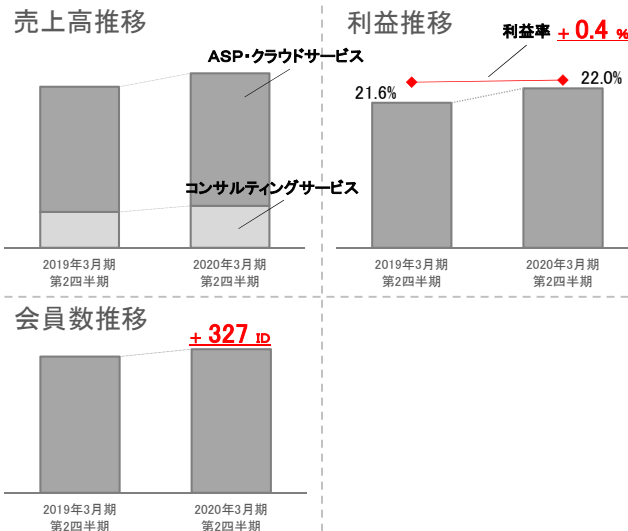
(単位：千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
①与信管理サービス	958,647	1,039,481	80,834	108.4%
②ビジネスポータルサイト	279,577	267,901	△11,676	95.8%
③教育関連	80,037	98,032	17,995	122.5%
<b>法人会員向けビジネス売上高計</b>	<b>1,318,261</b>	<b>1,405,416</b>	<b>87,154</b>	<b>106.6%</b>
①与信管理サービス	207,382	228,183	20,801	110.0%
②ビジネスポータルサイト	87,538	76,863	△10,674	87.8%
③教育関連	16,393	33,323	16,930	203.3%
<b>法人会員向けビジネス利益計</b>	<b>311,313</b>	<b>338,371</b>	<b>27,057</b>	<b>108.7%</b>
<b>会員数 (ID)</b>	<b>11,002</b>	<b>11,920</b>	<b>918</b>	<b>108.3%</b>

(単位：千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	745,807	790,075	44,268	105.9%
コンサルティングサービス	212,839	249,406	36,566	117.2%
<b>売上高 計</b>	<b>958,647</b>	<b>1,039,481</b>	<b>80,834</b>	<b>108.4%</b>
<b>利益</b>	<b>207,382</b>	<b>228,183</b>	<b>20,801</b>	<b>110.0%</b>
<b>利益率</b>	<b>21.6%</b>	<b>22.0%</b>	0.4 ポイント	—
<b>会員数 (ID) (注)</b>	<b>6,050</b>	<b>6,377</b>	<b>327</b>	<b>105.4%</b>

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む



### ◆ 売上高

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、前期を上回りました。コンサルティングサービスは、お客様独自の与信管理システムを構築するクラウドサービスや、IPOに向けた反社・与信管理体制の構築支援が好調であったことから、前期を上回りました。

### ◆ 利益

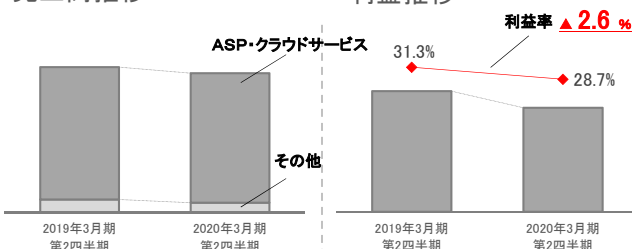
売上高が増加したこと等により、前期を大きく上回りました。



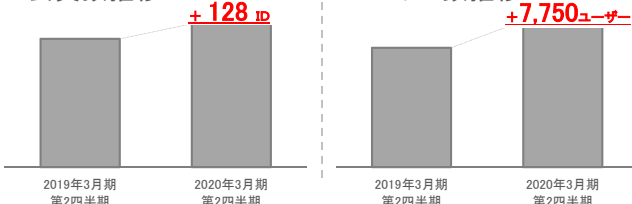
(単位：千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	255,301	249,862	△5,439	97.9%
その他	24,275	18,039	△6,236	74.3%
<b>売上高 計</b>	<b>279,577</b>	<b>267,901</b>	<b>△11,676</b>	<b>95.8%</b>
<b>利益</b>	<b>87,538</b>	<b>76,863</b>	<b>△10,674</b>	<b>87.8%</b>
<b>利益率</b>	<b>31.3%</b>	<b>28.7%</b>	<b>△2.6 ポイント</b>	<b>—</b>
<b>会員数 (ID)</b>	<b>3,088</b>	<b>3,216</b>	<b>128</b>	<b>104.1%</b>
<b>ユーザー数</b>	<b>134,392</b>	<b>142,142</b>	<b>7,750</b>	<b>105.8%</b>

売上高推移



会員数推移



### ◆ 売上高

会員数及びユーザー数が増加し定額の利用料が積み上がったものの、ディスク容量の利用が減少したため、前期を下回りました。

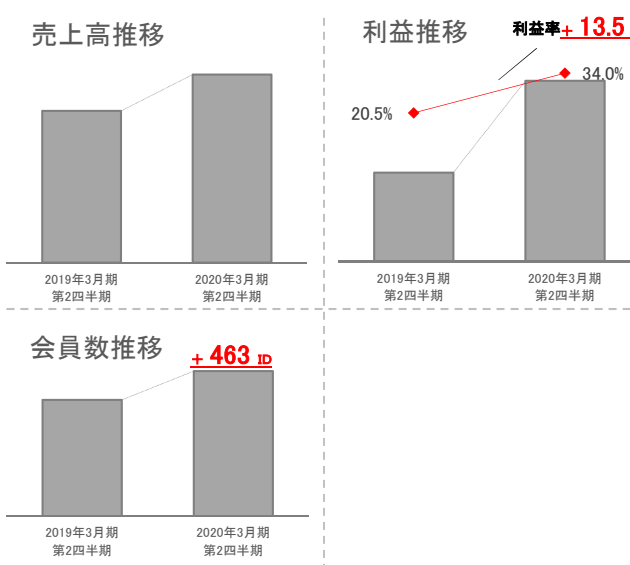
### ◆ 利益

利益率の高いディスク容量の利用が減少したことや、サービスシステムのパブリッククラウドへの移行に伴う費用を計上したこと等により、前期を下回りました。

(単位 : 千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高 計	80,037	98,032	17,995	122.5%
利益	16,393	33,323	16,930	203.3%
利益率	20.5%	34.0%	13.5ポイント	—
会員数(ID) (注)	1,864	2,327	463	124.8%

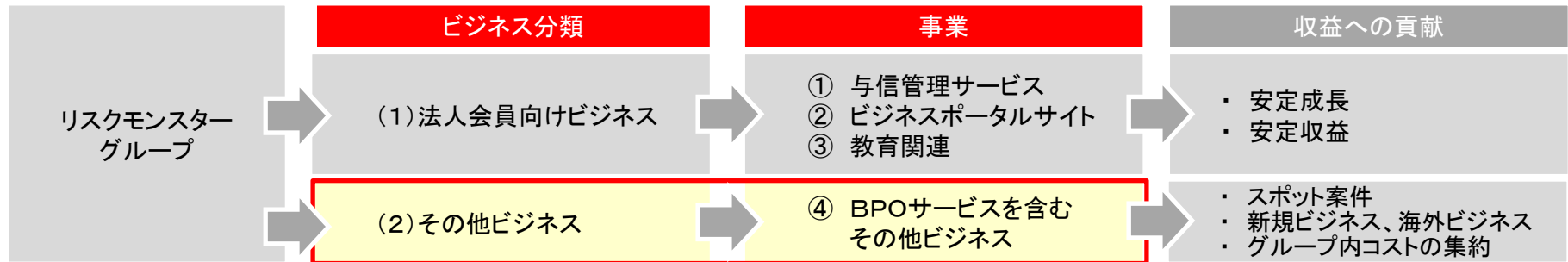
(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を利用できる会員の合計



**◆ 売上高**  
定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が2,327会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、その他の売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

**◆ 利益**  
売上高増加が寄与し、前期を大きく上回りました。

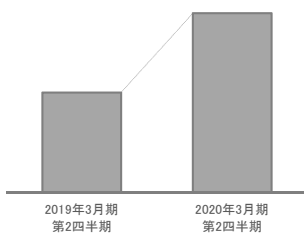
## リスクモンスターグループ ビジネスモデル



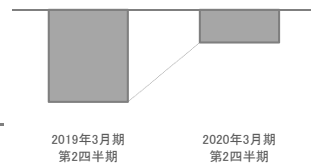
(単位：千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	227,537	265,373	37,836	116.6%
その他ビジネス利益計	△24,495	△8,677	15,817	—

売上高推移



利益(損失)推移



### ◆ 売上高

BPOサービスの主力のデジタルデータ化サービスと、当社グループ商材の海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)の売上高がともに堅調に推移しました。

なお、中国での与信管理及びグループウェアサービス等の会員数の合計は589会員となりました。

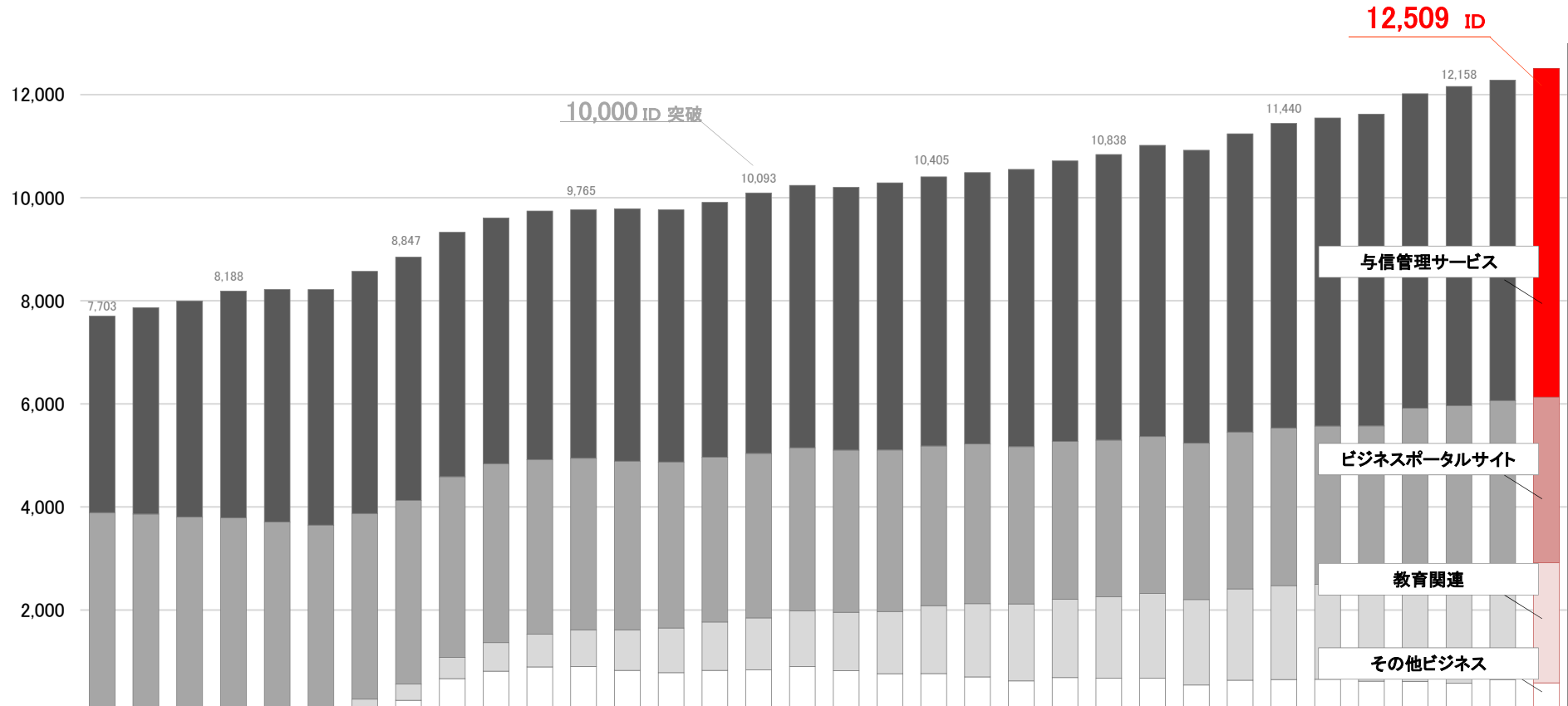
### ◆ 利益

BPOサービス及び中国におけるサービスの売上高が堅調に増加したため、損失額が減少しました。



# 5. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



	2011年			2012年				2013年				2014年				2015年				2016年				2017年				2018年				2019年		
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月				
与信管理サービス	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379	5,446	5,541	5,650	5,683	5,789	5,907	5,979	6,050	6,100	6,195	6,217	6,377
ビジネスポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051	3,057	3,039	3,042	3,033	3,041	3,058	3,068	3,088	3,123	3,135	3,184	3,216
教育関連	-	-	-	-	-	-	272	315	411	553	633	710	788	866	940	1,008	1,079	1,132	1,207	1,316	1,422	1,493	1,522	1,578	1,647	1,658	1,772	1,825	1,845	1,864	2,179	2,249	2,229	2,327
その他ビジネス(注1)	-	-	-	-	-	-	-	248	670	814	897	905	828	786	828	839	905	824	765	768	702	626	690	680	676	546	639	650	656	620	613	579	651	589
会員数計(注2)	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200	10,288	10,405	10,487	10,549	10,715	10,838	11,015	10,920	11,241	11,440	11,548	11,622	12,015	12,158	12,281	12,509

(注1) 中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員  
(注2) 重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,649,461	2,653,664	4,203	100.2%
固定資産	2,864,431	3,074,625	210,193	107.3%
資産合計	5,513,893	5,728,289	214,396	103.9%
流動負債	555,769	481,928	△73,840	86.7%
固定負債	416,943	451,727	34,784	108.3%
負債合計	972,712	933,656	△39,056	96.0%
純資産	4,541,180	4,794,633	253,452	105.6%
負債・純資産合計	5,513,893	5,728,289	214,396	103.9%
自己資本比率	81.0%	82.3%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	1,161.50円	1,225.12円	63.62円	105.5%

自己資本比率は82.3%と高水準を維持しております。

(単位：千円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前期比
営業活動	315,222	259,599	△55,623	82.4%
投資活動	△122,507	△200,912	△78,404	164.0%
財務活動	△129,556	△142,502	△12,946	110.0%
現金に係る換算差額	△799	△2,281	△1,481	285.3%
現金増減額	62,358	△86,097	△148,455	—
現金期末残高	1,875,104	2,013,846	138,741	107.4%

### ◆ 営業活動

税金等調整前四半期純利益	320,786
減価償却費	160,607
売上債権の増加額	△62,849
未払金の減少額	△38,756
法人税等の支払額	△96,729

### ◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△59,954
無形固定資産の取得による支出	△182,022
投資有価証券の売却による収入	112,918
投資有価証券の取得による支出	△113,284

### ◆ 財務活動

配当金の支払額	△65,505
自己株式の取得による支出	△46,424
長期借入金の返済による支出	△30,080

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期 予想	差 額	進捗率
売上高	1,585	3,100	1,514	51.1%
営業利益	292	500	207	58.4%
経常利益	323	500	176	64.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	208	300	91	69.4%
1株当たり 当期(四半期)純利益(EPS)	54.38円	78.17円	23.79円	69.6%

業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高はほぼ当初の予定どおり、利益は当初の予定を上回りました。

現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2019年4月よりスタートした「第6次中期経営計画(2019～2020年度)」は、第5次中期経営計画を継承し、長期ビジョン「RismonG-20」の利益目標を1年前倒しに設定いたしました。事業をビジネスモデル別に管理し、各事業の役割を明確にすることで、グループ全体の安定成長を目指します。目標達成のために、グループ一丸となって取り組んでまいります。

## リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

### 【RM財務格付】

2020年3月期  
第2四半期



#### 【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

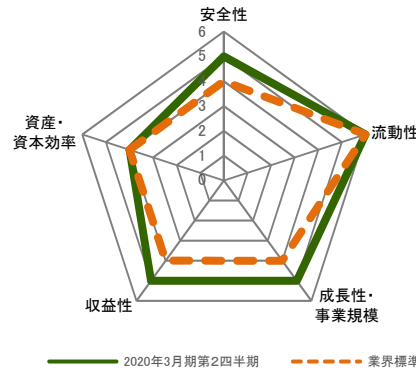
#### 【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

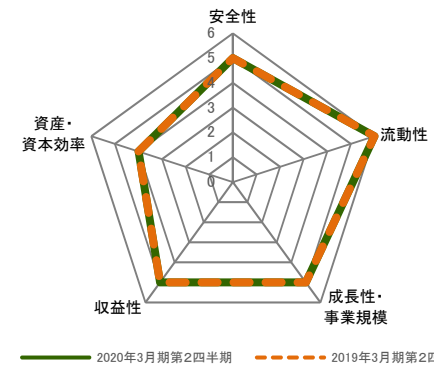
### 【RM財務格付履歴】

2020年3月期 第2四半期	2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期
a	a	a	a
2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
a	a	a	a
2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



<b>安全性</b>	2020年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
自己資本比率		☆☆☆☆☆
実質自己資本比率		☆☆☆☆☆
借入金利率		☆☆☆☆
借入返済年数		☆☆☆☆☆
<b>収益性</b>	2020年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率		☆☆☆☆☆
経常収支比率		☆☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)		☆☆☆☆
<b>資産・ 資本効率</b>	2020年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
	2019年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間		☆☆☆☆
棚卸資産回転期間		☆☆☆☆☆
総資産回転率		☆☆

<b>流動性</b>	2020年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆☆
	2019年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆☆
流動比率		☆☆☆☆☆☆
当座比率		☆☆☆☆☆☆
現預金回転期間		☆☆☆☆☆☆
手形割引率		
<b>成長性・ 事業規模</b>	2020年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
売上高増減率		☆☆☆☆
売上高規模		☆☆☆☆
経常利益増減率		☆☆☆☆☆☆

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆ (良い) ~ ☆ (悪い) にて表示しています。  
★が表示されない項目は、評価対象外です。  
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。



総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2020年3月期第2四半期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

### 【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、業績が順調に推移したことに伴い、純資産額は2019年3月期に比べ、約253百万円の積み上げとなった。自己資本比率としては、前期81.0%から82.3%に1.3ポイント上昇し、引き続き高い水準を維持している。

借入金に関しては、2019年3月期から約30百万円の減少となり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、安全性に関しては、依然として非常に高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金は前期とほぼ同等額を有しつつ、現預金回転期間8.0か月(前期8.5か月)、流動比率550.6%(前期476.7%)、当座比率534.0%(前期467.3%)と、高い水準を維持しており、引き続き十分な資金余力を有している。

### 【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比107.7%の増収推移となっている。これは、与信管理サービスを中心に法人会員向けビジネスが堅調に推移したことによるものである。

また、利益面においても、売上高経常利益率は17.3%(前年同期)から20.4%(当期)へ、売上高四半期純利益率では、10.6%(前年同期)から13.1%(当期)へと高い水準を維持しつつ、更なる向上となった。

収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

## リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう  
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定（2016年～2020年）

〔 キーワード 〕

**一人前の会社になる**

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画(2016年～2018年度)」

「第6次 中期経営計画(2019年～2020年度)」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 500百万円の利益を安定して創出、ROE 7%以上 を目指す

基本方針：『第5次中期経営計画(2016年～2018年度)』を継承

### ① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

### ② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

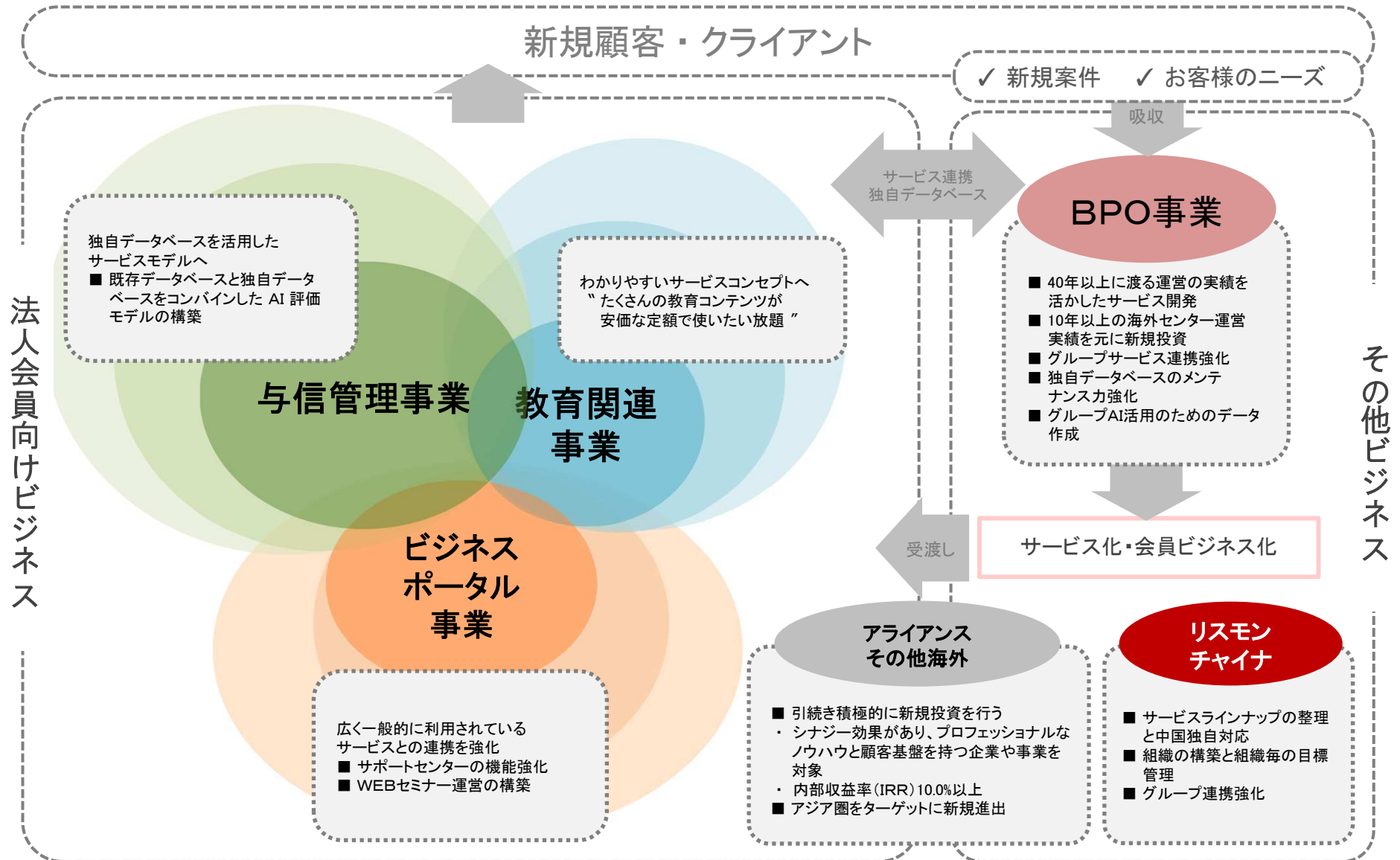
### ③ 資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

### ④ 株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

## リスクモンスターグループのビジネスモデルと各事業別の基本方針



当社は、与信管理や反社チェック業務の内、手間のかかる情報収集や分析を請け負うことで、お客様の工数削減と精度の向上をサポートしております。2019年1月より、反社チェックサービスの拡充かつ精度を向上させるため、人工知能(AI)を活用したロジックを組んでおり、より質の高いサービスをお客様に提供できるよう取り組んでおります。サービスを通じ、健全な企業活動の維持や、社内のコンプライアンス意識及び外部から見た企業価値の向上、さらには日本内外の経済の維持と更なる発展に貢献いたします。



当社で登録した120以上の反社関連キーワードをWeb上にある記事の中から自動でクロールし、記事をデータベースに蓄積します。

データベース上の記事と企業情報を関連付けします。

## 今後の展望

中国とベトナムに自社専用データセンターを設立し、現地の優秀な人材を多く雇用しております。

反社チェックの重要性をより広く社会に浸透させるため、当社発刊の書籍の改定や、eラーニングの講座追加、資格試験の範囲追加等、啓蒙活動を行います。

持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

## 自己株式の取得（2019年3月14日～2019年4月26日）

機動的な資本政策を実施することで資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

### 2019年3月13日開催 取締役会における決議内容

- ◆ 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 取得し得る株式の総数 : 87,000 株（上限）
- ◆ 株式の取得価額の総額 : 100,000,000 円（上限）
- ◆ 取得期間 : 2019年3月14日～2019年4月26日

### 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式

- ◆ 取得した株式の総数 : 65,700 株（上限に対する取得率 : 75.52%）
- ◆ 取得価額の総額 : 80,279,800 円（上限に対する取得率 : 80.28%）

## 自己株式の消却（2019年9月30日）

将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、自己株式を消却いたしました。

### 2019年9月30日 消却の内容

- ◆ 消却した株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 消却した株式の総数 : 50,000 株

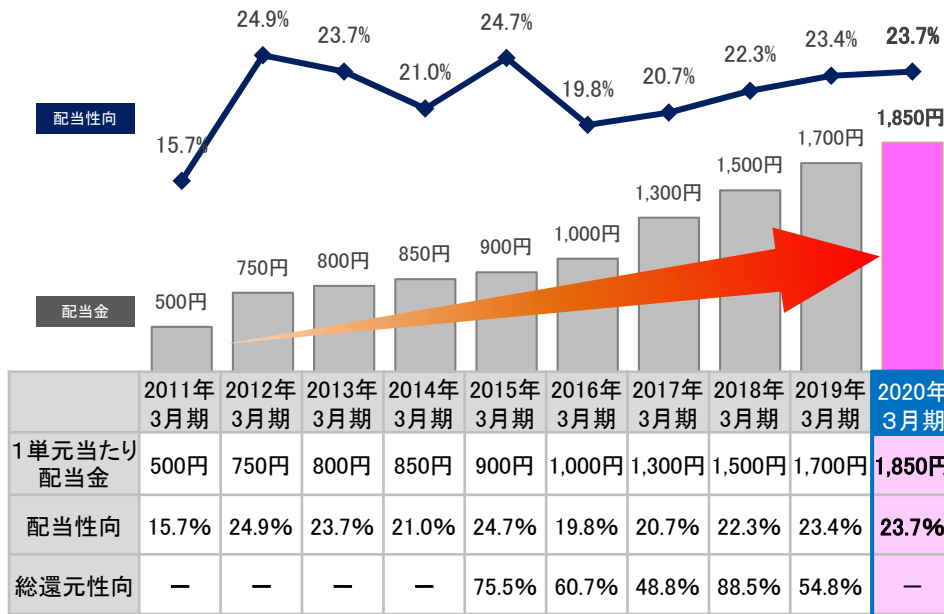
### 2019年9月30日時点の自己株式の保有状況

- ◆ 発行済株式総数 : 3,873,500 株
- ◆ 自己株式数 : 25,939 株



## 株主還元

- ◆ 2020年3月期は当初の予定通り1单元当たり1,850円（1株当たり 18.5円）の増配予定です。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指します。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標といたします。



(注) 1单元 = 100株

## 株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただき、株主優待を実施いたします。

また、より多くの皆様に長期間保有していただくため、株主優待制度を拡充いたしました。本年度の株主優待から実施いたします。

保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
所有株式数				
300株以上	当社指定商品	1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
500株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
1,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

新設

## 第19回 定時株主総会

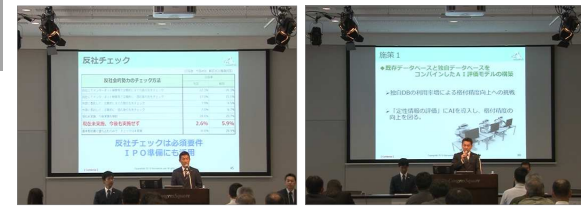
2019年6月25日に第19回定時株主総会を開催いたしました。

昨年に引き続き、株主総会と執行役員による事業説明会を実施いたしました。

多くの株主様にご来場いただき、活発な質疑応答が行われました



第19回 定時株主総会



事業説明会

## リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる「リスモンちゃんねる」で当社のIR動画を配信しております。

また、「信用」をテーマにインタビューする「人生の達人に聞く」シリーズ、人からの信用を調査する「Theレンタル」のPR動画も配信しております。



< リスモンちゃんねる 2019冬 撮影の様子 >

IR動画



PR動画

< 人生の達人に聞く シリーズ >



< Theレンタル >





## お問い合わせ先

### IRに関するお問い合わせ

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352

FAX : 03-6214-0431

Mail : ir@riskmonster.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



### 【会社名】

リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

### 【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

### 【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<https://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社

<https://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<https://www.rismon.com.cn>

## ■ 倒産リスクを判別する格付ロジックを改定

2019年6月16日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、経済状況の不確実性の高まりに伴う企業動向の変化などに対応するため、リスモン独自の与信指標である「RM格付」の格付ロジックを改定いたしました。

2019年4月に公表しました、テクマトリックス株式会社と共同で実施したRM格付精度向上のための実証実験を基に、定性項目の評価に人工知能(AI)を導入し、多面的な分析を行うことで、定性項目の強化を行いました。

## ■ 改定ポイント

### 1. 倒産確率の適時化

経済環境や景気動向の変化により、倒産のトレンドは常に変化しております。倒産トレンドの変化に対応するために、定期的に倒産実績の集計を行い、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っております。

### 2. 定量・定性分析の強化

多種多様な企業データを掛け合わせ、多面的に生存企業分析、倒産企業分析を行うに当たり、特に定性項目の評価において人工知能(AI)技術の導入により、倒産判別の向上が見込まれることから、定量・定性評価ロジックを改定し、格付精度の向上を図っております。

### 3. 業種・地域別分析の強化

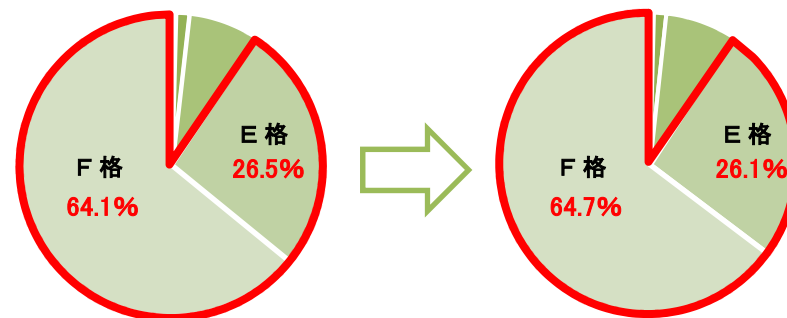
主に定性分析において、業種・地域ごとの倒産動向を捉え(倒産確率が高まっている業種など)、分析を強化し、格付精度の向上を図っております。

## ■ RM格付の倒産判別力

全倒産に占める低格付先の割合は、E・F格を合わせた警戒領域で、0.22ポイント(90.60%→90.82%)の上昇を見込んでおります。

【変更前ロジック】

【変更後ロジック】



0.22ポイント改善

## ■ 大学向け Web 学習システム『ビジネス実務与信管理学習ツール』

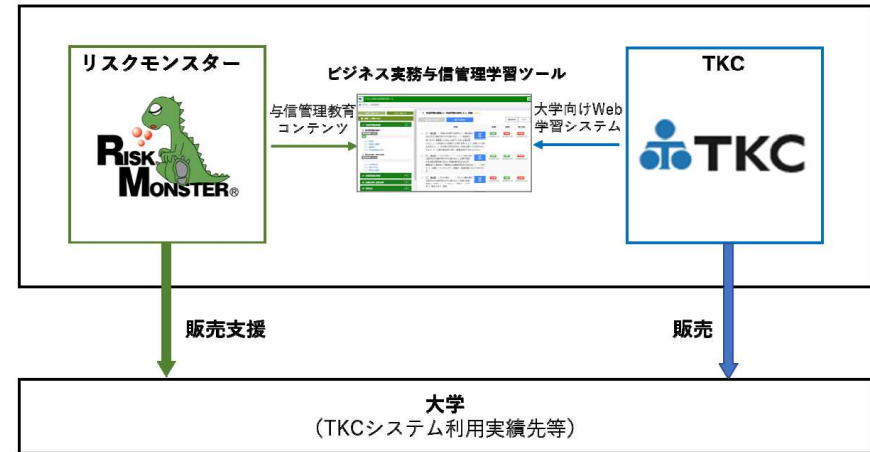
2019年7月26日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社と、「TKC 法科大学院教育研究支援システム」や「公務員試験学習ツール」等で士業や公務員試験等の Web 学習サービスで高い実績を有する株式会社TKC は、それぞれのノウハウを集結し、Web 学習システム「ビジネス実務与信管理学習ツール」を共同開発しました。

## ■ 概要

与信管理は、学生が社会に出てビジネスに携わる際には、必要な知識であり、事前に学習の機会を得ることは大変有用です。しかし与信管理は、企業経営や財務会計、法務など多分野にわたっているため、体系立てて学習できる機会が非常に乏しい状態にあります。

本システムによって、学生は与信管理の実務に必要な基礎知識を体系立てて学ぶことができるようになり、さらに、本システムの内容は、リスクモンスターが協賛する与信管理実務の技能検定の一つである「ビジネス実務与信管理検定試験3級および2級」の試験範囲をカバーしているため、試験学習としても有効な内容となっています。

学生にとっては、就職活動に向けて与信管理のビジネス実務知識を身につけておくことで、他の学生と差別化できるアピールポイントになります。



## ■ リスクモンスターグループ 大阪支社 事務所移転

当社大阪支社は、業務拡大に伴い事務所を移転し、2019年5月7日(火)より営業を開始いたしました。これを機に社員一同一層業務に邁進してまいります。

(新住所)

〒541-0053

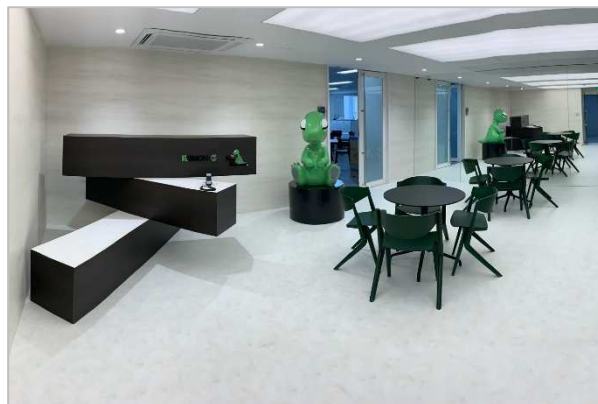
大阪市中央区本町二丁目6番8号

センバ・セントラルビル四階

リスクモンスター株式会社 大阪支社

(電話番号) 06-7223-8863

(FAX番号) 06-7223-8870



( エントランス )



( 会議室スペース )